

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社東邦銀行（証券コード:8346）

【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的

■格付事由

- (1) 福島市に本店を置く資金量6.2兆円の地方銀行。福島県内の預貸金残高でトップシェアを有する。格付は、強固な事業基盤、比較的良好な貸出資産の質、相応の資本水準などが支えている。収益力は格付対比で低位に推移してきたが改善傾向にあり、リスクを抑制しつつ改善を続けていけるかに注目していく。
- (2) 収益力は格付対比でやや低いものの、改善基調にある。相対的に利回りの低いアセットの割合が大きいことなどから、ROA（コア業務純益ベース）はこれまで低位で推移していた。しかし、25/3期は、貸出金利回りの上昇や預け金から相対的に利回りの高い有価証券へのシフトなどにより、コア業務純益（投信解約損益を除く）は前期比4割超の増益となり、ROAは0.2%弱まで改善した。26/3期は従業員の給与のベースアップや、野村證券との業務提携に伴う出向者受け入れ、システム整備などが経費の増加要因となるが、引き続き国内市場金利の上昇や預け金から有価証券へのシフトなどによる資金運用収益の増加でカバーし、収益力は今後も改善基調を維持するものとみている。
- (3) 貸出資産の質は比較的良好である。25年9月末の金融再生法開示債権比率は1.30%（部分直接償却を実施した場合1.02%）と、公共セクター向けの貸出構成比が高いことを考慮しても問題のない水準にある。与信費用は、22/3期以降低水準で推移している。保守的な引当などを背景に開示債権の保全率が高いこともあり、与信費用は当面コア業務純益で十分に吸収可能な範囲内で推移するとJCRはみている。
- (4) 有価証券運用にかかるリスクはおおむね抑制されている。円建債券の積み増しを進めているが、預証率は20%強と高くはない。資本対比の金利リスク量は拡大傾向にあったが、アセットスワップによる保有国債の変動金利化などにより、25年3月末には地域銀行の平均的な水準まで縮小している。株式や投資信託の価格変動リスクは相応に抱えているものの、政策保有株式については縮減する方針である。
- (5) 資本充実度は格付対比でやや高い。その他有価証券評価損などを調整後の連結コア資本比率は25年9月末で10%台半ば。今後は事業性貸出の増加などによりリスクアセットが拡大する可能性があるが、収益力が改善傾向にあることを踏まえれば、資本水準は安定的に推移するとみている。

（担当） 加藤 厚・高澤 俊太郎

■格付対象

発行体：株式会社東邦銀行

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025年12月23日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩
主任格付アナリスト：加藤 厚
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「銀行等」（2021年10月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社東邦銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関するJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回があります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル